

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17 時



タイトル「どんな国旗があるかな？」



コメント：国旗の絵本を見ながらいろいろな国旗を書きました。

岸田^{きしだ}まいさん 6 歳(小学1年)

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味が沸いたらご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30 字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたは FAX にてお送りください。

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

12 月 10 日号の予定			12 月 25 日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	12 月 9 日（水）	午後	封入作業	12 月 24 日（木）	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
発送作業	12 月 10 日（木）	午前	発送作業	12 月 25 日（金）	午前	

相双地区交流会①（豊橋市）

8 月末に豊橋で行われた、愛知県被災者支援センター主催の交流会に、参加させていただきました。アロマハンドトリートメントチームの杉本憲子と申します。その節はありがとうございました。

昨年に続き、今年も参加させていただき、とてもあったかい、温もりのあるイベント内容でした。参加している私も「昨年来られた方は今年も来られるかな？」と、皆さまにお会いできることが楽しみでした。

マッサージをさせていただきながら、皆さまから震災当日の話、そして現在の状況、行政の事など貴重な生の声をお聞きしました。その当日の大変な情景が目に見え、心が痛みショックを受けました。同時に皆さまの人生を前向きに生きる強さを感じ、当時の体験を実際に経験したら、私は「こんなに強くいられるだろうか？たくましく過ごせるだろうか？」と自問自答し、自分が弱く小さく感じたのを覚えています。反対に皆さまに元気をもらったような気がして、私は何をしに行ったのかと…。「役に立てたのかしら？」とまたまた自問自答でした。

皆さんのお話を聞きながらハンドマッサージをさせていただきました。

震災から随分時が経ってしまい、私たちは当たり前のように日常を過ごしていますが、震災に遭われた方にとっては今もなお、その影響は続いているのだという現実を目の当たりにしました。戻りたくても戻れない現状、新たに居住地を構える方など、さまざまな状況を抱えているのだと改めて感じました。

福島県から離れて生活をしている方々へ、国や県などが、もっともっといろいろな情報を皆さんに届けてほしいなあと感じました。

1 日でも早く、皆さんの心からの笑顔が見られ



＜アロマコーナーの始まる前の様子＞

とても貴重な体験をさせてもらい、皆さまがより一層元気に、光ある未来に向かって輝いていてもらえることを心から祈り、私達も皆さまの貴重な体験を生かして役に立つよう、大事にしていなくてはと思いました。

ぜひ、次の機会があれば、マッサージコーナーにたくさん参加してくださることを、たくさんお話しできることを、楽しみにしております。ありがとうございました。

（アロマハンドトリートメントチーム 杉本憲子）

る日が来ることを祈っております。ありがとうございました m(__)m



＜お弁当を食べながらの雑談＞

（アロマハンドトリートメントチーム 川崎美佳）

相双地区交流会②（豊橋市）

第3回相双地区交流夏祭りの一角に、今回もアロマハンドトリートメントコーナーを設けさせていただき事が叶いました。



＜マイクを手に説明する鈴木さん＞

毎回初めてお会いできる方がいらっしゃり、特に今年は同じ富岡町から避難されている方の手をトリートメントさせていただく機会がありました。あの頃が今でもまざまざとよみがえる事は、涙を誘いますが、向かい合って話をしていくうちに、心からの言葉をいただける瞬間に出逢います。交流会でアロマハンドトリートメントを行う時にこそ築ける心の財産となっています。

西尾市での大交流会と今回で2回目となる足つ

ぽマッサージで、友人の助けを借りることができたことも心強く有難いものになりました。友人も場の雰囲気に触れて、息の長い話なのだと感じてくれたようです。

私たち避難者の毎日は薄紙を重ねて、その上を歩くような頼りない日々の積み重ねで、時に揺らいだり迷ったりしています。それでも理解のある友人たちや家族、支援していただいている皆さまの存在を改めて感じることができます。

太鼓やお囃子、同じ富岡町の方の笛の音色が聞こえる中で過ごせる時間が再び迎えられたことに、感謝の念がじわりと湧いてきます。今年は河北新報の記者さんも郡山から来県してくださって、愛知県での交流会の様子が記事になりました。子ども達がとても好きな懐かしの相馬漬けのきゅうりも、お弁当もとても美味しかったです。

今回は特に避難解除に伴う帰還に向けた、住宅支援の制度について今後の方針等を福島県庁の職員の皆さんから直接伺う機会となりました。震災から5年を迎えようとする今、ますます多様化してゆく個別の事情に沿う事は容易ではないと感じております。しかし、人生を左右する選択を重ねてきた私たちの気持ちが尊重されるような仕組み作りを心から強く願っております。

（あおぞら編集委員 鈴木ユカリ）

リレートーク①

原発の事故で



2011年5月1日に避難して来て豊橋市役所でアルバイトできたことや、愛知県被災者支援センターと出会ったこと、友だちができ本当にありがたく思っております。

原発は2度と事故は起こしてもらいたくないです。4年半という長い避難生活でした。今後、埼玉県に移住します。



（避難元福島県南相馬市 草野守夫）

リレートーク②

飯館村との境にある相馬市の山沿いから実家のある愛知県に来て4年半近く経ちます。自主避難の人にも借上げ住宅を提供してくださり愛知県には心より感謝しています。

毎月2回発行し送ってくださる定期便には、福島民報が入っており、読みたかったので必ずいつも読んでいます。他の新聞も盛り沢山掲載されていて、いくつも新聞を取れないので助かっています。毎月楽しみにしています。また、コンサートや催し物の招待や案内も同封しており、美術展やコンサートや花火大会など子どもたちと出向き楽しみました。

今年1月31日と2月1日の西尾市でのリゾートホテルであった交流会は、
3人の子どものみで参加しましたが、英気を養ってきたようです。こういった参加は、大きな癒しになると思います。地方での交流会でも、避難してきた東北の皆さんと共通の話ができました。お互いに知らなかった情報交換もできたり、今後の方向性や現在を



知ることもでき、明日への活力につながるのではないかと思います。

愛知県被災者支援センターの皆さまや、他の支援をしてくださってきた方々が震災からの生活再建や後押しに、尽力してくださっています。震災によって愛知県に腰を下ろし再び飛び立っていく姿は、支援の方々にとって何よりの喜びと安堵だと思います。

東北は郷土愛のとても強い地方です。愛知県や信州で生まれ育った私も、自分の生まれた地ほど大人になっても恋しいところはありません。誰人にもある故郷、誰にも忘れられない場所があり、忘れてはならない場所がある。万人の帰る場所がある。それが故郷…。帰還困難な方たちが、今まで交流会で「埼玉に家を建てた」「茨城に家を建てた」と聞いてきました。故郷に帰って住むことはできないけど近県や福島県内に家を建てて立ち上がる方を見るたび、故郷の重みを感じます。せめて故郷の近くにいたい。私も子ども達の生まれ育った相馬市に家を残したいと頑張っています。

(避難元福島県相馬市 堀内光子)

※堀内さんの詩集になります。

帰郷

胸の鼓動を打ち鳴らすのは 遠く我妻連峰の山々
列車に飛び乗り 野を超え山超え 富士の山を越え 幾山河を越え 眼前を見渡せば 我が故郷と福島の大天地
小鳥のさえずり 草の匂い潮の香り あの道この道
行きなれたスーパー 郵便局 犬の鳴き声 あの人の人 夢にまで見たこの日 この時…今故郷フクシマを抱きしめる…
何も云わず無条件に受け止めてくれる故郷
誰人にも故郷がある 帰るべき場所がある
都会や街に出ても 故郷に帰れば誰もが再び明日からの活力を養い出発できる
誰人にも 忘れられない場所がある
忘れてはならない場所がある 忘れてはならない心がある それは故郷…



大交流会告知

支援センターからのお知らせ

今年もやります！全体交流会！告知第2弾

毎年開催してきた全体交流会で、昨年度は267名93世帯の皆さまに参加していただきました。今年度は名古屋で開催しますので、初めての方もぜひご参加ください。

相談会には、専門分野の方や被災県の行政の方にお越しいただく予定です。お聞きになりたいこと、お尋ねになりたいことがありましたら、この機会をご活用ください。

お子様には、「こどもの広場」で遊んでいただけます。人形劇やマジック、科学・工作広場などもあり、幅広い世代にお楽しみいただけることと思います。高校生や大学生のお兄さんお姉さんが一緒に付いてくれ、室内でのびのびと遊ぶことができます。ご活用いただき、保護者の皆さまには安心して交流会・相談会にご参加いただければと思います。

日時：2016年2月11日(祝・木)11:00～16:00 ※日帰り。

場所：名古屋国際会議場 4号館白鳥ホール他（名古屋市熱田区熱田西町1-1）

内容：

〔昼食〕 愛知県産の食材を使ったお弁当をご用意いたします。

おいしいお弁当をお召し上がりください。

〔茶話会〕 みなさんとゆっくりお話ししましょう。

〔相談会〕 住宅 就労 健康 進学 復興状況などを予定。



〔リラックス〕 整体やハンドマッサージなどでゆったりとしたお時間をお過ごしください。

〔こどもの広場〕 遊ぶ！作れる！楽しめる！人形劇・マジック・科学の工作広場など、企画が盛りだくさんです。ゆるキャラにも会えるかも？お楽しみに！

〔フリータイム〕 16:00～18:30 は会場を開放しますので、ご自由にご歓談ください。

アクセス：地下鉄名城線「^{にしたかぐら}西高蔵」2番出口から徒歩5分 又は ※どちらも金山駅から一駅
地下鉄名港線（名城線名古屋港行き）「^{ひびの}日比野」1番出口から徒歩5分

お申込み：今後の定期便でご案内いたします。少々お待ちください。

*****ふるさとサポーターより*****

解決しない思いをしまい込み、自分の気持ちを抑えていませんか？不安や悩みは取り除くことができますか？頑張りすぎていませんか？震災がなかったら出会うこともなかったかもしれない者同士、心をオープンにして語り合いませんか？日頃の思いを開放させながら、楽しい時間を過ごしましょう！

（避難元福島県いわき市 根本美佳）

あいちの **産直&体験施設** 第7回

～お買いものガイド～

愛知県東部にある三河地方
その中の醸造業を取り上げます **三河地域編**

産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



愛知県の中でも特に三河・知多地域では古くから醸造業が盛んで、多くの味噌・醤油・味噌・酒・酢などの蔵元があります。その中から今回は、日常の料理に使う調味料の味噌・醤油・白だしの、本醸造という昔からの製造法にこだわる蔵元を取り上げました。家庭料理を作る時のご参考にどうぞ。



PICK UP

みそぱーく(株式会社 はと屋)

場 所： 西尾市吾妻町 21-1

連絡先： 0563-56-7373、0120-181-084

営業日時： 10:00～17:00(年中無休)



「みそぱーく」は、創業文久元年創業の醸造元・はと屋が運営する味噌醤油のテーマパークで、日本のソウルフード味噌を「食べる・見る・体験する・買う・勉強する」といろいろ楽しめます。本物の味噌仕込み桶を見学できる味噌蔵、さまざまな体験ができる体験館、蔵売店、檜の香りの木造館、レストランなどがあります。

＜三河地域の産地直売所&ふれあい体験施設＞

No	施設の名称	住所・場所	QRコード	連絡先
①	日東醸造 株式会社(白だし)	碧南市松江町 6-71		0566-41-0156
②	ヤマシン醸造 株式会社(白しょうゆ)	碧南市西山町 3-36		0566-41-2231
③	中川醸造 株式会社(たまりしょうゆ)	刈谷市小垣江町塩浜 50		0566-22-3170
④	すずみそ醸造場(みそ・たまり)	西尾市東幡豆町御堂前 61-1		0563-62-2271 0120-413-054
⑤	七福醸造 株式会社(白だし)	安城市東端町南用地 57		0120-72-9417
⑥	株式会社 まるや八丁味噌(八丁みそ)	岡崎市八帖町往還通 52		0564-22-0222
⑦	株式会社 杉浦醸造場(みそ)	岡崎市在家町字向前田 32-1		0564-43-5500 0120-664-339
⑧	株式会社 丸加醸造場(みそ・たまり)	豊田市越戸町字上能田 91		0565-45-1001

●産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。

施設のホームページからも詳細を確認していただけます。

予約が必要な体験もありますので、体験の内容等については予めお問合せください。





旬のお出かけ情報

～温泉施設～



寒さも一段と増してきました。紅葉の季節も終わり、本格的な冬の寒さが近づくこの季節に、温泉でゆっくりと身体を温めませんか？日頃の疲れを取って、年末の忙しさを乗り切りましょう。今号では愛知県内にある温泉を特集します。



PICK UP

鳳来ゆ～ゆ～ありいな(湯谷温泉)

泉 質：カルシウム・ナトリウム-塩化物泉

場 所：新城市能登瀬字壺輪 23-1

アクセス：JR「湯谷温泉駅」から徒歩 10 分

連絡先：0536-32-2212



宇連川の両岸の温泉街。1300 年前に鳳来寺を開山した利修仙人によって発見され、源泉「鳳液泉」は万病に効くと伝えられています。

<愛知県内の温泉施設一覧>

No	名称	泉質等	場所	アクセス	連絡先
①	名鉄犬山ホテル(犬山温泉)	アルカリ性低張性冷鉱泉	犬山市犬山北古券 107-1	名鉄「犬山遊園駅」徒歩 8 分	0568-61-2211
②	名古屋クラウンホテル(三蔵温泉)	単純温泉	名古屋市中区栄 1-8-33	地下鉄「伏見駅」徒歩 5 分	052-211-6633
③	南知多温泉郷 源氏香(山海温泉)	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉	知多郡南知多町山海海岸	名鉄「内海駅」から知多バス 8 分	0569-62-3737
④	南知多内海温泉 観光ホテル大新(内海温泉)	ナトリウム-塩化物強塩泉	知多郡南知多町内海字一色 68	名鉄「内海駅」徒歩 15 分	0569-62-2211
⑤	湯元ホテル小野浦(海炎温泉)	ナトリウム-塩化物泉	知多郡美浜町小野浦字風宮崎 2-1	名鉄「知多奥田駅」から送迎バス 10 分	0569-87-0368 0120-412-618
⑥	紫翠閣とうふや(笹戸温泉)	低張性アルカリ性冷鉱泉	豊田市笹戸町囃 7	地下鉄・愛知高速交通「藤ヶ丘駅」から送迎バス 60 分	0565-68-2331
⑦	吉良観光ホテル(吉良温泉)	マグネシウム・カルシウム・ナトリウム-塩化物泉	西尾市吉良町宮崎田ノ上 15	名鉄「吉良吉田駅」からタクシーで 10 分	0563-32-1181
⑧	銀波荘(西浦温泉)	アルカリ温泉	蒲郡市西浦町大山 25	名鉄「西浦駅」から名鉄バス 8 分	0533-57-3101

●詳しい情報は各施設のホームページ等をご確認ください。



スタッフ紹介 ～ 事務局 戸村京子 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第14回は事務局スタッフの戸村京子です。



2012年度終わってから2013年度に支援センターでお世話になっていましたが、この夏からまた皆さんにお会いできる機会を得ました。これまで母子元気回復事業や大交流会で、避難者の「ふるさとサポーター」の方々と一緒に、皆さんとの出会いの場や日常の疲れを癒していただくリラククスコーナーなどを担当してきました。

私は、チェルノブイリ被災者支援のNGOに所属しており、25年間にわたりウクライナの放射能被災者の方々とお付き合いをしてきました。大震災後は、福島県南相馬市で継続して行っている放射能測定隊にも参加しています。

国や民族は違っても、被災者の方々の苦しみや悩み、思いは共通するものが多いと思います。この経験を生かせないかと日々考えています。

支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★編集会議でかわいい手作り菓子をいただき、そのおかげで良いアイディアが浮かびました。ありがとうございます。(Y.Y)
- ★久しぶりのクラシックコンサートで、チェロの音色があまりにも美しく、心の中で涙がこぼれ清らかな気分になりました。芸術の秋を満喫中です。(E.K)
- ★夜更かしが身体にしみる季節が、やってくることを感じております。あっという間に過ぎてゆく1年、変化を受け止めながら、今ここに在る事を喜んでいきたいです。(Y.S)
- ★ボランティアコーディネーション力2級を受けに2日間、大阪まで行ってきました。(J.I)
- ★休みの日が何かと消えてしまい、衣替えができていない…と焦っているうちに、本格的な寒さがやってきて、薄物を重ね着している今日この頃。昼間は7分袖、朝夕は長袖シャツ、夜は薄手ジャケットと、この調子で冬まで行けそうかな？(K.T)
- ★パソコンでのお絵描きにはまりました。アートの秋には程遠い落書きばかり。案外、楽しいです。(T.N)

<12月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
12月5日(土)	第33回パッチワーククラブ	東区
12月16日(水)	里山を歩きましょう	千種区
12月19日(土)	第34回パッチワーククラブ	東区
12月19日(土)	第39回囲碁クラブ	東区
12月20日(日)	愛知淑徳大学 なごやであそび隊 クリスマス会	千種区
12月23日(水) ～27日(日)	人形劇団むすび座 冬休み人形げきじょう2015	中区
12月26日(土)	第31回子育てつどいの広場 in 瑞穂区	瑞穂区
12月28日(月)	劇団飛行船マスクプレイミュージカル	中区

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
mail: aozora@aichi-shien.net

●詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。皆さんのご参加をお待ちしております。